

## 2019年度 生活介護事業 にこてらす 事業計画

“働く”ことを中心に活動してきた、多機能型事業所（就労継続支援B型事業・生活介護事業）にこてらすが、利用者の加齢や個々の障害を起因として「いっぱい働くのはしんどくなってきた。」

という利用者が少しづつみられるようになってきました。働きたいという思いと働くのはしんどいけどにこてらすに通いたいという想いを大切に様々なニーズに応えられる事業所づくりを

行いたいと考えます。

どんなに歳を重ねても生きがいを支える手段の1つである“働く（役割を持つ）”ことにも

こだわりつつ、現在のにこてらすの内容からその人の状態やニーズにあわせ柔軟に対応できる

場所づくりを段階的に行うため、2019年度生活介護事業単体での運営また定員10名から20名に変更の予定です。

1人1人を大切に、その人にあった支援を迫及し続け、ヒトとして成長できる場所を保障し、「にこてらすを利用して、本当によかった」と心の底から思ってもらえるよう邁進してまいります。

### 1, 基本方針

1人1人の力が発揮される環境づくり

挑戦して、できた！という成功体験を積み重ね、自立してできる活動を増やす

### 2, 概要

(1) 定員20名 (現員12名)

(2) 職員配置

	配置基準	2019年度配置人数
管理者	1以上	0.5 (りひと管理者兼任)
サービス管理責任者	1以上	1
看護師	7.1人	0.1
生活支援員		8.1
調理員	1以上	0.7
運転手		0.2

※1 人員配置体制加算 利用者1.7：職員1 を取得

※2 重度障害者支援加算取得のため、7.1名に1名加えた8.1人の配置

(3) 新利用者の見込み人数

年度	新規利用者 見込み数	利用者数 (各年度3月末)
	2019年4月1日➡	12人
2019年度	3人	15人
2020年度	2人	17人
2021年度	2人	19人

(4) サービス費および報酬単価

サービス費名	人数	サービス費	サービス提供日数
生活介護サービス費（区分6）	3	12,830	245日
〃（3時間）利用の日		6,415	25日
生活介護サービス費（区分5）	8	9,630	245日
〃（3時間）利用の日		4,815	25日
生活介護サービス費（区分4）	1	6,830	245日
〃（3時間）利用の日		3,415	25日
人員配置体制加算Ⅰ	12	2,650	270日
福祉専門職員配置等加算Ⅲ	12	60	270日
重度障害者支援加算 実践終了	9	70	270日
〃 計画シート	6	1,800	270日
食事提供加算	12	300	243日
送迎加算Ⅱ	7	100	270日

※1 サービス提供日数は、270日

3. 実施事業の詳細

(1) サービスの目的

- イ 生産活動を通して自らの力を培う
- ロ 工賃の支給
- 二 個に応じた支援（例：糖尿病罹患患者への運動や食事の支援・創作活動作品のコンクールへの出展・活動を選択できる余暇活動（創作活動・調理・外出・旅行など）

(2) サービスの概要

- イ サービスの提供時間  
8：50～16：00
- ロ サービス提供日および日数
  - ・月曜日～金曜日（原則日数）
  - ・利用日数 270日
- ハ 生産活動の内容
  - ・牛ふんたい肥の袋詰め

- ・洗たく作業
- ・資源回収および配達作業
- ・さをり織り
- ・野菜の出荷作業（就労継続支援B型事業での生産物を加工出荷準備➡出荷）

二 上記記載以外のサービス内容

- ・個別支援計画の立案
- ・昼食の提供 食材料費 250 円は実費負担とする
- ・相談支援 （就労、生活について）
- ・健康管理
  - A健康診断・歯科検診
  - Bバイタルチェックの実施 血圧、体温測定
  - C送迎支援の実施

ホ 職員の質の向上のため、人権擁護研修・障害についてなど内外研修の実施